



御親征
行在所日誌
第二
行幸中

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '御親征', '行在所日誌', and '第二']

御親征
行幸中

行在所日誌第二號

慶應四戊辰年三月廿七日

三月廿六日天保山ニ於テ海軍為

散覽卯ノ半刻

御發輦御行列ノ次第ハ左之通

壹

加藤遠江守
兵隊

池田侍從
兵隊

柳沢甲斐守
兵隊

細川右京大夫
兵隊

不参加藤遠江守

先陣
一番
若王子

聖護院宮

庭田大納言

松本隱岐

(二)

不參池田侍從

先陣
二番

勘方由小路辨

勸修寺權佐

松尾因幡

先陣
三番

柳沢甲斐守

四辻宰相中將

擲筭中將

細川右京大夫

細川三河

(三)

薩州兵隊

百人

中軍

備前兵隊

百人

中軍
左

中山大納言

馬

富小路中務大輔

壬生修理權大夫

坊城侍從

(四)

御板輿

輿丁 十人

兩皮 二人

脚左 二人

右

中山前中將

大原左馬頭

裏松勢推少輔

三條大納言

馬

(五)

御警 三人

御膳番 一人

松室丹波

御茶弁當 二人

土山淡路守

御水桶 二人

御兒兩人御先理り

雨皮 二人
御臺 二人

御厨子所 上下四人

肥後兵隊

百人

同御用長持二棹

夫四人

長州兵隊

百人

中務卿宮

石山三位

正親町大納言

千種前少將

坊城頭辨

長門少將

後陣 一番

安藝少將

後陣

二番

津和野侍從

森對馬守

松室石見

羽倉播磨

石野大夫

藤堂

後陣

北小路極筋

後陣

安藝

三番

藤堂大學頭

兵隊

津和野

兵隊

松室下總

森

長門

御道筋ハ御本門ヨリ心齋橋通り四軒町大豆葉町
七郎右衛門町西國橋玉水町常安橋通り玉江橋
ヨリ堂嶋濱筋塩津橋ヨリ安治川筋安治川橋通
御ニ而富島二丁目濱ヨリ
御乗船被為 遊兵隊ノ前軍中軍ハ左ノ川岸後
軍ハ右ノ川岸ヨリ隊列ヲ整ヘ正々堂々
御座船ノ左右ニ隨從行進シ以テ護衛セリ午ノ
刻天保山ニ
御着船也○兼テ用意アリシ各藩ノ軍艦佛國軍
艦天保山ヨリ距離一里ニシテ碇泊セリ

敬覽所ヨリ青旗ヲ振リ

着御ヲ合圖ス是ニ應シテ海軍惣督聖護院宮同
輔翼若王子同參謀庭田大納言兼込レシ肥前軍
艦電流丸ヨリ祝炮ヲ發ス佛國軍艦ヨリモ亦發
炮シ

皇帝陛下ヲ祝シ奉ル右相濟ニ電流丸ヨリ答礼
ノ應炮ヲ發シ諸艦ヲ誘導シ兵庫ノ方ヘ向テ航
スルト三十分時ニシテ轉回シ天保山へ歸艦碇
泊スハツ時過
御乗船御道筋御行列初ノ如シ七ツ時

選御在セ五ノ川ノ○此日供奉諸侯ノ供連ハ侍二人
口附二人下部一人ナリ九船中ハ從僕一人ナリ
残り供ハ陸行御行列ノ後ニ從ハリ○前中後
人兵隊人數ハ中藩以上百人小藩ハ一小隊ナリ
○御行列ヲ拜セシトテ市中迄在ノ衆庶群集ス
ルヲ駭シ

神皇正統記
卷之四
神武天皇
御行幸
紀伊國
高野山
御行幸
紀伊國
高野山
御行幸
紀伊國
高野山

官版

不許翻刻

御用御書物所

京東洞院三條上ル町

村上勘兵衛

同堀川二條下ル町

井上治兵衛

京三條通柳馬場東角

取次

辻

本仁兵衛

大坂心齋橋通唐物町

浅

井吉兵衛

同心齋橋通博勞町

岡

田茂兵衛

書林

同心齋橋通南丁目

大野

木市兵衛

嚇用嚇書嚇底

宮殿

不精濼陵